

「交流の森」について

「交流の森」とは？

「交流の森」は森の世話人が共通で森づくりを行うために国有地内にもうけた森づくり活動地の名称です。

森づくり団体共有のフィールドで、活動日（年間2～3日）に希望者（森の世話人から1～2名程度を当初は想定）が集まり、団体の垣根をこえて、森づくりを行いたく考えています。以下の事項を目的としており、今年の秋に森開きを予定しています。

【団体間の交流】

ともに汗を流すことによって団体間の交流の促進を期待しています。

【スキルアップ】

講習会のフィールドとして利用したり、世話人同士で教えあうことによる森づくりスキルの向上を期待しています。

【土砂災害に強い森づくりの見本としての森】

将来的には、森の世話人の登録を検討している団体が森づくりを体験したり、一般市民が土砂災害に強い森を学ぶことのできる森になることを期待しています。

（現在、詳細を検討しており、今後、変更する場合があります。）

交流の森への移動方法

本日はタクシーで移動します

